



「Chromebook (クロームブック) の効果的な活用について」

～一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業より：No.2～😊

今年度は、弥生小、あさひ小、千代田小、大森浜小、駒場小、湯川小、桔梗小、北昭和小、北中、榎法華中の10校が、「一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業」のモニター校になっています。第二弾として桔梗小学校と北昭和小学校の取組をご紹介します。

桔梗小学校の取組



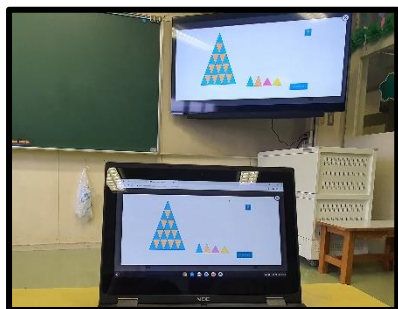
1 児童用デジタル教科書(算数)の活用

今年度より、本校では、児童用の算数科デジタル教科書が導入されました。そこで、校内研究として、全学年で一人一台端末を活用し、デジタル教科書を利用して学ぶことで、「主体的に取り組み、学びを活用できる子どもの育成」を目指しています。



2 Chromecast を利用した情報の共有

PC上の児童の考えを学級全体に伝える場合、大型ディスプレイ等へ拡大して表示すると分かりやすくなります。Chromebookの画面を外部表示する方法には有線接続と無線接続の2つの方法がありますが、有線接続の場合、端末ごとに画面の設定をしなければなりません。そこで、Chromecastを利用して無線で表示できるよう、環境を整備しました。



北昭和小学校の取組



1 『バーチャルピアノ』で鍵盤の練習(1年音楽科)

画面上の鍵盤を使い、タッチして音を確認したり、運指の練習をしたりしています。鍵盤に階名がふられているので、初めてでも安心して使えます。画面を拡大表示すると使いやすいです。



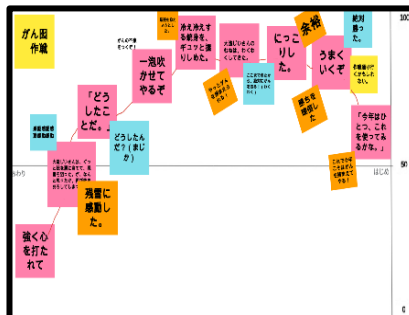
2 Jamboard で心情曲線を作って話し合う(5年国語科)

黄色い付箋は場面、赤は教科書に書いてあること、他の色はその時の気持ちと使い分けて表示することで、話し合いが「叙述を根拠とする心情」に焦点化されました。

3 スプレッドシートで友達の意見を見ながら考える(道徳科など)

共同編集で互いの意見を見て話し合いを広げたり、考えを深めたりしています。児童が入力する際に、誤入力を防ぐために、入力するセルを児童のアカウントで保護しています。

原本をコピーして編集することで別の場面でも活用できます。



今年度の函館市教育振興フォーラムでは、「一人に一台の端末を活用したこれからの教育について」をテーマに、講演会を開催し、駒場小学校・北中学校の事例発表も行いました。

本フォーラムの様子は、YouTubeチャンネルで公開しております。

詳しくはHPをご覧ください😊 <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2021092100056/>